



レコードのちから

レコード館では、来館したお客様にレコードの音色をさまざまな方法で楽しんでもらえるよう多くの取組みをしております。また、来館したお客様以外の方々にもレコードの魅力を知ってもらう取組みをすることで、より多くの方々にレコード館の持つ歴史的財産（レコード）を共有できるように取組みをしております。今月はレコード館から外へ飛び出した取組みについて紹介します。

音の日レコードコンサート

トーマス・エジソンが1877年12月6日に蓄音機を発明したことにちなみ、日本オーディオ協会は毎年12月6日を「音の日」として定め、音の文化について多くの人に知ってもらうイベントを行っています。

レコード館でも12月6日「音の日」において普段レコード館を訪れることが難しい方々のために出張レコードコンサートを実施し、レコードの音色に触れていただく取組みを行っています。主に町内の福祉施設において出張レコードコンサートを実施し、高齢者を中心とした多くの町民が昔懐かしい歌謡曲などを聴き、思い出にふけるひとときを提供しております。



▲あいい荘で開催された出張レコードコンサートの様子

音楽と癒し②

先月に引き続き「音楽と癒し」について触れてみたいと思います。

最近、脳をテーマにしたテレビ番組を見かけます。私たち全てが持つ脳については、未だ解明されていないことが多いと言われますが、今回は音楽と脳の関係について「癒し」をテーマに話を進めてみたいと思います。ただし、明確な医学的根拠をもって説明するにはまだ時間が必要ということをお知らせさせていただきます。

普段私たちの脳からはさまざまな脳波が出ていると言われており、その中でもα波が出ている状態が、リラックスしている状態とされています。これは、脳から出ている脳波はその心身状態によって異なり、特に人がリラックスした気持ちでいる時に出現する脳波がα波であると言われております。音楽、特にクラシック音楽を聴くことでα波が必ず出るとは言えませんが、出やすい状態に人の脳がなることは確かかなようです。また、私たち日本人は非常によく左脳を使っているとされています。左脳は言葉、計算をする際に働きます。これに対し、音楽を聴いているときには右脳が主に使われるとされます。左脳をよく使う現代人にとっては右脳を活性化させ、左脳を休ませることが、音楽の持つ大きな効用とされており、左脳が疲れているときに、右脳を使ってバランスを取ることで疲れが和らいだ感じに人はなるとされます。このように、音楽を聴くことで癒された気持ちになるといえることが可能になると言われております。

小竹町長の動静 & まちのできごと 6月 ●は町長出席

- 1日、(社)北海道治山林道協会日高支部総会、(社)北海道造林協会日高支部総会○ 1日、新冠町高齢者虐待防止ネットワーク会議○ 5日、新冠町体育協会定期総会● 6日、新冠中学校体育祭、育成公社取締役会● 7日、第60回北海道植樹祭 in えりも(えりも町)● 8日、日高ポークグループ養豚施設内覧会、新冠町自治会長等永年勤続表彰式、庁内会議● 9日、新冠町地域水田農業推進協議会● 10日、北海道町村会理事会(札幌市)● 12日、新冠町防犯協会総会○ 12日、70才以上ひとり暮らしふれあい会食会、例月出納検査● 15日、(社)天然記念物北海道犬保存会日高支部展覧会・獣猟競技会● 23日、第2回定例会(～26日)● 25日、軽種馬構造改革推進会議(浦河町)● 29日、新冠町障害者自立支援協議会● 30日、ひだか漁業協同組合通常総代会

人の
うごき
(平成21年6月末現在)

人口	5,876人	(前月比)	- 4人
男	2,868人	(前月比)	+ 2人
女	3,008人	(前月比)	- 6人
世帯	2,622世帯	(前月比)	- 1世帯
外国人登録者	42人		

